

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年8月10日まで（2017年12月22日設定）	
運用方針	インド債券オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公社債、および国際機関債に投資を行います。社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。インド・ルビー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルビー建となるように直物為替先渡取引等を行います。債券の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 社債への実質投資割合は、取得時において、信託財産の純資産総額の60%以下とします。 同一企業が発行する社債への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際インド債券オープン
（年1回決算型）

第2期（決算日：2019年9月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際インド債券オープン（年1回決算型）」は、去る9月10日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） J.P. Morgan GBI-EM Broad India			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	み期騰落 金騰落	中率	(円換算)	期騰落 中率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円	
2017年12月22日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	1	
1期(2018年9月10日)	8,670	0	△13.3	8,732	△12.7	95.4	—	110	
2期(2019年9月10日)	9,500	0	9.6	9,951	14.0	95.7	—	103	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算) は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルピー建て、ヘッジなし) (出所: J.P. Morgan) の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円 換 算)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2018年9月10日	円 8,670	% —	8,732	% —	% 95.4	% —
9月末	8,801	1.5	8,899	1.9	94.7	—
10月末	8,757	1.0	8,896	1.9	94.9	—
11月末	9,386	8.3	9,645	10.5	93.9	—
12月末	9,272	6.9	9,566	9.6	94.7	—
2019年1月末	8,985	3.6	9,236	5.8	95.2	—
2月末	9,185	5.9	9,450	8.2	95.4	—
3月末	9,569	10.4	9,857	12.9	95.3	—
4月末	9,521	9.8	9,814	12.4	95.3	—
5月末	9,542	10.1	9,889	13.3	95.1	—
6月末	9,634	11.1	10,025	14.8	95.6	—
7月末	9,904	14.2	10,401	19.1	95.7	—
8月末	9,390	8.3	9,857	12.9	95.5	—
(期 末) 2019年9月10日	9,500	9.6	9,951	14.0	95.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

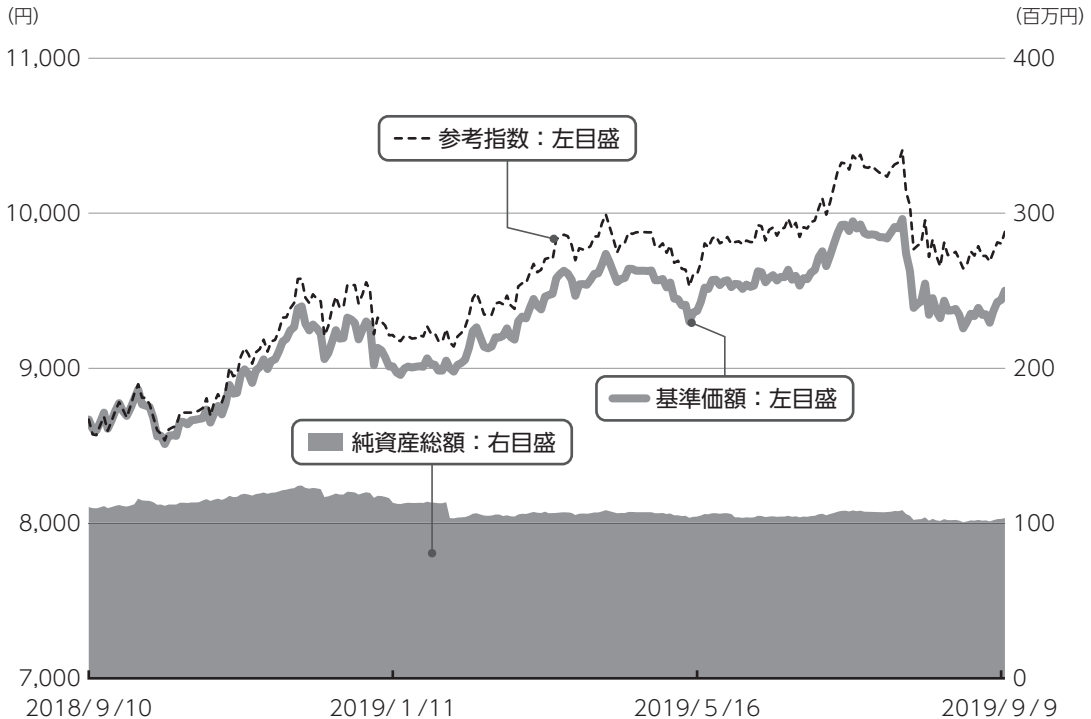
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2018年9月11日～2019年9月10日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	8,670円
第2期末	9,500円
既払分配金	0円
騰落率	9.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.6%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有銘柄の利息収入を享受したことや利回りが低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

インド・ルピーが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第2期：2018年9月11日～2019年9月10日

投資環境について

▶ 債券市況

インド5年国債利回りは低下

期首は、インフレ指標が市場予想を下回ったことなどが好感され、利回りは低下しました。2018年10月にインド準備銀行（RBI）が市場の利上げ予想に反し政策金利の据置きを発表すると利回りはさらに低下し、その後も公開市場操作による流動性供給や原油価格の低下によるインフレ懸念の後退等により利回りの低下基調が続きました。RBI総裁の突然の辞任や、来年度予算案の公表を控え財政赤字悪化への警戒感から利回りが上昇する場面もありましたが、新たなRBI総裁が迅速に指名されたことやインフレ率の伸び率鈍化を背景に、利回りは総じて安定的に推移しました。そして2019年2月、RBIが政策スタンスを中立とするだけでなく、市場予想に反し政策金利を引き下げたため、ポジティブサプライズとなり、利回りはさらに低下しました。

3月には、パキスタンとの国境付近での緊張感の高まりが後退し、RBIが公開市場操作による流動性供給を実施したことや、貿易収支の赤字幅が縮小したことなどから利回りは低下基調で推移しました。4月に入ると、RBIは市場予想通り政策金利を引き下げたものの、原油価

格の上昇や食品インフレへの影響を注視するとのことで中立としていた政策スタンスが維持されると、利下げを期待した一部の投資家からの失望や、国債の発行増による需給緩和等が意識され金利は上昇しました。

5月に入ると、注目されていた総選挙において、出口調査にて与党インド人民党（BJP）の優勢が報じられると、これを好感して利回りは低下で反応し、さらに選挙結果が与党連合のみならずBJP単独でも過半数を獲得すると報じられると、政治運営の安定や改革推進期待から利回りはさらに低下しました。7月には、年度修正予算が発表され、財務規律を保つ姿勢は維持しつつも、経済成長、特に投資を支援する政府スタンスが示され、比較的堅実な内容であったことが好感されたほか、減速しつつあるインド経済をサポートすべく、RBIは政策金利の引き下げを複数回実施したことなどにより、利回りは低下基調で推移しました。一方で、鉱工業生産指数の伸び率鈍化など景気減速懸念が強まると、政府による財政支出拡大等が警戒され、利回りが上昇する場面が見られました。

▶ 為替市況 インド・ルピーは対円で下落

期首は、米中貿易摩擦の拡大懸念が強まり、アジア新興国通貨が対米ドルで軒並み下落したことに加え、原油高に伴うインフレ懸念や経常赤字という経済状況、米国長期金利の上昇による新興国からの資金流出懸念等を背景にインド・ルピーは対ドルで史上最安値を更新し、インド・ルピーは対円で下落しました。2018年10月に入ると原油価格の下落に伴うインフレ懸念の後退や政府とRBIとの緊張緩和などによりインド・ルピーは対円で上昇しました。12月以降は、RBI総裁の突然の辞任や注目された州選挙においてBJPが苦戦したことを受け政治リスクへの警戒感が高まったほか、財政赤字拡大懸念も意識されインド・ルピーは対円で下落に転じました。2019年1月に入ると、米国の政策金利引き上げ休止を示唆するハト派的なスタンスや米中貿易交渉の進展期待などにより米ドルが対円で上昇し、さらに、国内インフレ懸念の後退や、投資家のリスクセンチメントの改善等を背景に資金流入が見られたことなどから、インド・ルピーは対円で上昇しました。

3月に入ると米中貿易摩擦の不透明感を受けて、投資家の様子見姿勢が見られましたが、パキスタンとの国境付近での衝突以降、毅然とした態度で臨んだモディ

氏とBJPへの支持率上昇が伝えられ、総選挙にて現政権が勝利するとの楽観的な見方もあり、インド・ルピーは対円で上昇しました。総選挙を受けて、株式市場で過去最高値を更新するなど、インド・ルピーが対円で堅調に推移したものの、その後は、米中の貿易摩擦問題に伴う新興国からの資金流出や、世界的な景気減速懸念などが重石となり、インド・ルピーは対円で概ね下落傾向で推移しました。

8月に入ると、米国が新たに中国からの輸入品に追加関税賦課を表明する一方、中国も人民元安を容認するとともに、国有企業に対し米国産の農産物輸入停止を要請するなど米中貿易摩擦の激化を受けて世界的にリスク回避的な動きが加速し、外国人投資家による資金流出が見られたことなどから、インド・ルピーは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

- ▶ **国際インド債券オープン（年1回決算型）**
インド債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。
- ▶ **インド債券オープン マザーファンド**
インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。

※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。

インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。デュレーションについては、期の初めは5.0程度とし、期末は4.8程度としました。

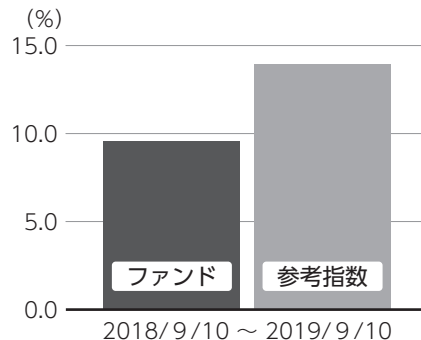
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（円換算）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2018年9月11日～2019年9月10日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	717

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際インド債券オープン（年1回決算型）

引き続き、インド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

▶ インド債券オープン マザーファンド

引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。債券市場は概ね堅調に推移するとの見通しから、デュレーションは4.8程度とする方針です。インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。

インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

2018年9月11日～2019年9月10日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	150	1.619	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(76)	(0.820)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(70)	(0.756)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	8	0.084	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(7)	(0.079)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	158	1.703	

期中の平均基準価額は、9,291円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

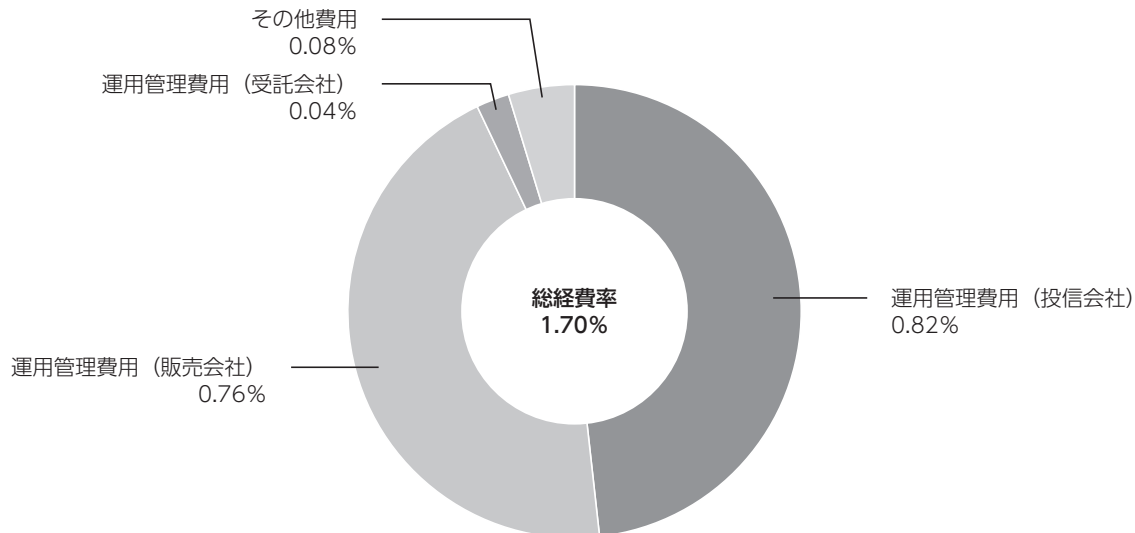
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月11日～2019年9月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インド債券オープン マザーファンド	千口 2,645	千円 4,222	千口 13,805	千円 23,150

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月11日～2019年9月10日)

利害関係人との取引状況

<国際インド債券オープン（年1回決算型）>

該当事項はございません。

<インド債券オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6,011	百万円 —	% —	百万円 13,852	百万円 2,389	% 17.2

平均保有割合 0.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年9月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インド債券オープン マザーファンド	千口 69,828	千口 58,667	千円 103,125

○投資信託財産の構成

(2019年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
インド債券オープン マザーファンド	千円 103,125	% 98.9
コール・ローン等、その他	1,171	1.1
投資信託財産総額	104,296	100.0

(注) インド債券オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (50,260,375千円) の投資信託財産総額 (50,701,285千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.45円	1 インドルピー=1.51円		
------------------	----------------	--	--

○特定資産の価格等の調査

(2018年9月11日～2019年9月10日)

<インド債券オープン マザーファンド>

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	69

当期に、国際インド債券オープン（年1回決算型）の主要投資対象であるインド債券オープン マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年9月10日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	104,296,590
コール・ローン等	1,150,412
インド債券オープン マザーファンド(評価額)	103,125,545
未収入金	20,633
(B) 負債	862,662
未払信託報酬	860,645
未払利息	2
その他未払費用	2,015
(C) 純資産総額(A-B)	103,433,928
元本	108,880,383
次期繰越損益金	△ 5,446,455
(D) 受益権総口数	108,880,383口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,500円

<注記事項>

- ①期首元本額 127,459,166円
 期中追加設定元本額 4,867,865円
 期中一部解約元本額 23,446,648円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9500円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,446,455円です。

③分配金の計算過程

項目	2018年9月11日～ 2019年9月10日
費用控除後の配当等収益額	5,272,083円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	420,691円
分配準備積立金額	2,118,183円
当ファンドの分配対象収益額	7,810,957円
1万口当たり収益分配対象額	717円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2018年9月11日～2019年9月10日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 308
支払利息	△ 308
(B) 有価証券売買損益	10,760,277
売買益	11,876,622
売買損	△ 1,116,345
(C) 信託報酬等	△ 1,780,861
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	8,979,108
(E) 前期繰越損益金	△ 7,143,343
(F) 追加信託差損益金	△ 7,282,220
(配当等相当額)	(408,917)
(売買損益相当額)	(△ 7,691,137)
(G) 計(D+E+F)	△ 5,446,455
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,446,455
追加信託差損益金	△ 7,282,220
(配当等相当額)	(420,691)
(売買損益相当額)	(△ 7,702,911)
分配準備積立金	7,390,266
繰越損益金	△ 5,554,501

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

インド債券オープン マザーファンド

《第16期》決算日2019年8月13日

[計算期間：2019年2月13日～2019年8月13日]

「インド債券オープン マザーファンド」は、8月13日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物為替先渡取引（NDF）等を行います。
主要運用対象	インドの公社債*、および国際機関債 *社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限りません。）が発行する社債を含みます。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 社債への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の60%以内とします。 同一企業が発行する社債への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） J.P. Morgan GBI-EM Broad India （円換算）		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	期騰落	率	期騰落	率			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2017年8月10日)	17,488	7.6	18,115	7.9	94.7	—	21,446
13期(2018年2月13日)	16,969	△3.0	17,374	△4.1	96.4	—	59,014
14期(2018年8月10日)	16,515	△2.7	17,017	△2.1	95.8	—	56,281
15期(2019年2月12日)	16,736	1.3	17,401	2.3	96.2	—	51,511
16期(2019年8月13日)	17,270	3.2	18,107	4.1	96.6	—	50,019

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円換算) は、J.P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルピー建て、ヘッジなし) (出所: J.P. Morgan) の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J.P. Morgan GBI-EM Broad India (円 換 算)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年2月12日	円	%		%	%	%
	16,736	—	17,401	—	96.2	—
2月末	16,847	0.7	17,483	0.5	95.7	—
3月末	17,577	5.0	18,236	4.8	95.5	—
4月末	17,509	4.6	18,156	4.3	95.6	—
5月末	17,576	5.0	18,295	5.1	95.4	—
6月末	17,769	6.2	18,546	6.6	95.9	—
7月末	18,294	9.3	19,243	10.6	96.0	—
(期 末) 2019年8月13日						
	17,270	3.2	18,107	4.1	96.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.2%の上昇となりました。

●基準価額の変動要因

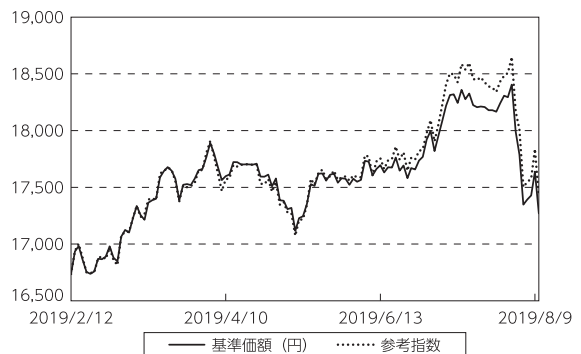
(上昇要因)

保有銘柄の利回りが低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

インド・ルピーが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・インド5年国債利回りは低下
- ・期首は、パキスタンとの国境付近での緊張感の高まりなどがありましたが、インド準備銀行(RBI)が公開市場操作による流動性供給を実施したことや、貿易収支の赤字幅が縮小したことなどから利回りは低下基調で推移しました。2019年4月に入ると、RBIは市場予想通り政

策金利を引き下げたものの、原油価格の上昇や食品インフレへの影響を注視するとのことで「中立」としていた政策スタンスが維持されると、利下げを期待した一部の投資家からの失望や、国債の発行増による需給緩和等が意識され金利は上昇しました。

- ・5月に入ると、注目されていた総選挙において、出口調査にて与党インド人民党（BJP）の優勢が報じられると、これを好感して利回りは低下で反応し、さらに選挙結果が与党連合のみならずBJP単独でも過半数を獲得すると報じられると、政治運営の安定や改革推進期待から利回りはさらに低下しました。7月には、年度修正予算が発表され、財務規律を保つ姿勢は維持しつつも、経済成長、特に投資を支援する政府スタンスが示され、比較的堅実な内容であったことが好感されたほか、減速しつつあるインド経済をサポートすべく、RBIは政策金利の引き下げを複数回実施したことなどにより、利回りは低下基調の中で期末を迎えました。

◎為替市況

- ・インド・ルピーは対円で下落
- ・期首は、米中貿易摩擦の不透明感を受けて、投資家の様子見姿勢が見られましたが、パキスタンとの国境付近での衝突以降、毅然とした態度で臨んだモディ氏とBJPへの支持率上昇が伝えられ、総選挙にて現政権が勝利するとの楽観的な見方もあり、インド・ルピーは対円で上昇しました。総選挙を受けて、株式市場で過去最高値を更新するなど、インド・ルピーが対円で堅調に推移したものの、その後は、米中の貿易摩擦問題に伴う新興国からの資金流出や、世界的な景気減速懸念などが重石となり、インド・ルピーは対円で概ね下落傾向で推移しました。
- ・2019年8月に入ると、米国が新たに中国からの輸入品に追加関税賦課を表明する一方、中国も人民元安を容認するとともに、国有企業に対し米国産の農産物輸入停止を要請するなど米中貿易摩擦の激化を受けて世界的にリスク回避的な

動きが加速し、インド・ルピーは対円で下落する中で期末を迎えました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。また、社債については、インベスコ・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッド（インド）のアドバイスを受け、運用を行いました。
※社債については、インドの企業が実質的に100%出資する企業（所在地はインドに限られません。）が発行する社債を含みます。
- ・インド・ルピー建債券のほか、米ドル建債券にも投資しました。また、米ドル建債券への投資にあたっては、実質的にインド・ルピー建となるように直物が替先渡取引（NDF）等を行いました。
※直物が替先渡取引とは、一種の外国為替先物取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。
- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を利用して、利回りが相対的に高いインド・ルピー建債券を積極的に組み入れています。
- ・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・デュレーションについては、期の初めは4.8程度とし、期末も4.8程度としました。
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

○今後の運用方針

- ・引き続き、インドの公社債、および国際機関債を主要投資対象として運用を行い、これらの債券を高位に保ちます。債券市場は概ね堅調に推移するとの見通しから、デュレーションは4.8程度とする方針です。
- ・インドの外国人投資家に対する投資枠を活用した運用を継続します。
- ・インド・ルピー建以外の債券に投資した場合には、原則として、実質的にインド・ルピー建となるように直物が替先渡取引（NDF）等を行

います。

- ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年2月13日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	7	0.037	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(6)	(0.037)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.001)	
期中の平均基準価額は、17,604円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月13日～2019年8月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	特殊債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 400
		社債券	3,582	4,320
国	インド	国債証券	千インドルピー 1,088,930	千インドルピー 1,380,300
		社債券	—	293,717

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引状況

種 類	取 引 契 約 金 額
直物為替先渡取引	百万円 79,843

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月13日～2019年8月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	2,513	—	—	5,844	167	2.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 126,750	千アメリカドル 133,431	千円 14,067,675	% 28.1	% —	% 0.5	% 23.1	% 4.5
インド	千インドルピー 21,750,000	千インドルピー 22,992,896	34,259,415	68.5	9.5	52.4	14.7	1.4
合 計	—	—	48,327,090	96.6	9.5	53.0	37.8	5.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
特殊債券	4 EX-IM BK INDIA 230114	4.0	3,100	3,228	340,351	2023/1/14
社債券	2.875 AXIS BANK/ 210601	2.875	6,300	6,293	663,524	2021/6/1
	3 AXIS BANK/ 220808	3.0	4,500	4,502	474,654	2022/8/8
	3.068 RURAL ELEC 201218	3.068	1,000	1,005	106,015	2020/12/18
	3.25 ICICI BANK 220909	3.25	4,500	4,544	479,152	2022/9/9
	3.25 STATE IND/L 220124	3.25	9,000	9,100	959,515	2022/1/24
	3.667 RELIANCE IN 271130	3.667	800	831	87,630	2027/11/30
	3.75 ONGC VIDES 230507	3.75	11,000	11,371	1,198,894	2023/5/7
	3.875 POWER GRID 230117	3.875	8,600	8,883	936,541	2023/1/17
	4 BHARAT PETR 250508	4.0	800	837	88,314	2025/5/8
	4.5 RELIANCE HOLD 201019	4.5	2,300	2,352	248,051	2020/10/19
	4.625 BHARAT PETR 221025	4.625	11,500	12,148	1,280,766	2022/10/25
	4.625 ONGC VIDES 240715	4.625	3,900	4,189	441,717	2024/7/15
	4.75 INDIAN OIL C 240116	4.75	1,000	1,069	112,750	2024/1/16
	4.75 NTPC LTD 221003	4.75	12,200	12,865	1,356,440	2022/10/3
	4.875 STATE IND/L 240417	4.875	1,800	1,954	206,047	2024/4/17
	5.125 OIL INDIA 290204	5.125	800	901	95,003	2029/2/4
	5.375 OIL INDIA 240417	5.375	13,800	15,223	1,605,016	2024/4/17
	5.4 RELIANCE HOLD 220214	5.4	8,000	8,516	897,942	2022/2/14
	5.625 INDIAN OIL 210802	5.625	7,000	7,412	781,493	2021/8/2
	5.625 NTPC LTD 210714	5.625	3,550	3,735	393,850	2021/7/14
	5.75 ICICI BK LIM 201116	5.75	500	518	54,659	2020/11/16
	5.75 INDIAN OIL 230801	5.75	10,800	11,944	1,259,341	2023/8/1
小計					14,067,675	
インド			千インドルピー	千インドルピー		
国債証券	6.68 INDIA GOVT 310917	6.68	600,000	593,918	884,938	2031/9/17
	6.79 INDIA GOVT 270515	6.79	100,000	100,722	150,077	2027/5/15
	6.79 INDIA GOVT 291226	6.79	100,000	100,500	149,745	2029/12/26
	7.17 INDIA GOVT 280108	7.17	100,000	103,738	154,570	2028/1/8
	7.59 INDIA GOVT 260111	7.59	1,150,000	1,212,962	1,807,314	2026/1/11
	7.59 INDIA GOVT 290320	7.59	1,150,000	1,215,117	1,810,524	2029/3/20
	7.61 INDIA GOVT 300509	7.61	750,000	796,875	1,187,343	2030/5/9
	7.72 INDIA GOVT 250525	7.72	800,000	847,600	1,262,924	2025/5/25
	7.73 INDIA GOVT 341219	7.73	200,000	218,500	325,565	2034/12/19
	7.88 INDIA GOVT 300319	7.88	1,050,000	1,134,787	1,690,833	2030/3/19
	8.13 INDIA GOVT 450622	8.13	150,000	172,875	257,583	2045/6/22
	8.15 INDIA GOVT 261124	8.15	850,000	922,886	1,375,101	2026/11/24
	8.17 INDIA GOVT 441201	8.17	500,000	577,504	860,481	2044/12/1
	8.2 INDIA GOVT 250924	8.2	50,000	54,330	80,951	2025/9/24
	8.24 INDIA GOVT 331110	8.24	800,000	901,200	1,342,788	2033/11/10
	8.3 INDIA GOVT 400702	8.3	50,000	57,505	85,682	2040/7/2
	8.4 INDIA GOVT 240728	8.4	400,000	434,720	647,732	2024/7/28
	8.6 INDIA GOVT 280602	8.6	1,000,000	1,120,213	1,669,118	2028/6/2
	9.15 INDIA GOVT 241114	9.15	50,000	56,404	84,041	2024/11/14

銘柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
インド		%	千インドルピー	千インドルピー	千円		
国債証券	9.2 INDIA GOVT 300930	9.2	850,000	1,004,940	1,497,361	2030/9/30	
	9.23 INDIA GOVT 431223	9.23	550,000	708,695	1,055,956	2043/12/23	
特殊債券	7.17 NATL HIGHWAY 211223	7.17	200,000	201,126	299,678	2021/12/23	
	7.2 NABARD 311021	7.2	250,000	237,534	353,926	2031/10/21	
	7.27 IND RAIL F 270615	7.27	200,000	196,264	292,433	2027/6/15	
	7.27 NATL HIGHWAY 220606	7.27	400,000	407,073	606,539	2022/6/6	
	7.6 NATL HIGHWAYS 220318	7.6	250,000	249,609	371,918	2022/3/18	
	7.69 NABARD 320331	7.69	200,000	197,960	294,961	2032/3/31	
	7.74 EX-IM BK IND 370526	7.74	200,000	203,411	303,082	2037/5/26	
	7.83 IND RAIL F 270319	7.83	500,000	507,594	756,315	2027/3/19	
	8.02 EX-IM BK IND 251029	8.02	100,000	102,944	153,386	2025/10/29	
	8.11 EX-IM BK IND 310711	8.11	50,000	51,587	76,865	2031/7/11	
	8.15 EX-IM BK IND 250305	8.15	50,000	51,867	77,283	2025/3/5	
	8.2 NABARD 280316	8.2	100,000	101,971	151,937	2028/3/16	
	8.75 IND RAIL F 261129	8.75	100,000	107,090	159,565	2026/11/29	
	8.8 FOOD INDIA 280322	8.8	50,000	54,056	80,544	2028/3/22	
	8.83 EX-IM BK IND 230109	8.83	50,000	52,973	78,930	2023/1/9	
	8.83 IND RAIL F 230325	8.83	100,000	104,717	156,029	2023/3/25	
	8.87 EX-IM BK IND 291030	8.87	50,000	54,054	80,540	2029/10/30	
	8.88 EX-IM BK IND 221018	8.88	50,000	52,815	78,694	2022/10/18	
8.95 IND RAIL F 250310	8.95	150,000	162,072	241,488	2025/3/10		
9.95 FOOD INDIA 220307	9.95	500,000	536,459	799,324	2022/3/7		
社債券	7 RELIANCE IN 220831	7.0	550,000	560,858	835,678	2022/8/31	
	7.03 RURAL ELEC 220907	7.03	100,000	100,358	149,534	2022/9/7	
	7.09 RURAL ELEC 221017	7.09	400,000	401,703	598,537	2022/10/17	
	7.3 POWER GRID 270619	7.3	500,000	489,985	730,078	2027/6/19	
	7.4 HOUSING DE 201117	7.4	50,000	50,417	75,121	2020/11/17	
	7.42 LIC HOUSIN 220715	7.42	100,000	101,029	150,534	2022/7/15	
	7.45 LIC HOUSIN 221017	7.45	100,000	101,002	150,493	2022/10/17	
	7.47 ICICI BANK 270625	7.47	150,000	146,591	218,422	2027/6/25	
	7.48 LIC HOUSIN 220610	7.48	200,000	202,291	301,414	2022/6/10	
	7.52 RURAL ELEC 261107	7.52	100,000	98,297	146,462	2026/11/7	
	7.54 LIC HOUSIN 201007	7.54	100,000	100,655	149,976	2020/10/7	
	7.54 RURAL ELEC 261230	7.54	50,000	49,127	73,199	2026/12/30	
	7.55 POWER GRID 310921	7.55	50,000	49,961	74,442	2031/9/21	
	7.585 LIC HOUSIN 200611	7.585	50,000	50,309	74,960	2020/6/11	
	7.6 AXIS BANK/ 231020	7.6	200,000	201,684	300,509	2023/10/20	
	7.6 HOUSING DE 200626	7.6	50,000	50,466	75,195	2020/6/26	
	7.6 ICICI BANK 231007	7.6	400,000	406,668	605,935	2023/10/7	
	7.85 LIC HOUSIN 221216	7.85	100,000	102,040	152,040	2022/12/16	
	7.89 POWER GRID 270309	7.89	50,000	50,767	75,643	2027/3/9	
	7.9 HOUSING DE 260824	7.9	100,000	100,360	149,536	2026/8/24	
	7.9 RELIANCE P 261118	7.9	400,000	404,048	602,032	2026/11/18	
	7.95 HDFC BANK LT 260921	7.95	950,000	936,027	1,394,681	2026/9/21	
	7.95 RELIANCE P 261028	7.95	100,000	100,920	150,370	2026/10/28	

銘柄	当期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
インド		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
社債券	7.95 RURAL ELEC 270312	7.95	200,000	200,691	299,030	2027/3/12
	8.11 RURAL ELEC 251007	8.11	50,000	51,223	76,322	2025/10/7
	8.19 NTPC LTD 251215	8.19	50,000	51,223	76,322	2025/12/15
	8.2 HOUSING DE 210729	8.2	150,000	153,593	228,853	2021/7/29
	8.2 POWER GRID 250123	8.2	200,000	207,910	309,786	2025/1/23
	8.2 POWER GRID 300123	8.2	50,000	52,057	77,565	2030/1/23
	8.3 GAIL INDIA 220223	8.3	150,000	155,844	232,208	2022/2/23
	8.3 RURAL ELEC 250410	8.3	100,000	103,550	154,289	2025/4/10
	8.34 LIC HOUSIN 251008	8.34	50,000	51,478	76,703	2025/10/8
	8.35 LIC HOUSIN 201023	8.35	50,000	50,784	75,669	2020/10/23
	8.39 POWER FIN 250419	8.39	150,000	152,968	227,923	2025/4/19
	8.4 POWER GRID 300527	8.4	50,000	52,825	78,709	2030/5/27
	8.45 HOUSING DE 260518	8.45	50,000	51,667	76,984	2026/5/18
	8.45 RELIANCE P 230612	8.45	250,000	250,682	373,516	2023/6/12
	8.65 POWER FIN 241228	8.65	100,000	103,281	153,888	2024/12/28
	8.8 NTPC LTD 230404	8.8	50,000	52,588	78,357	2023/4/4
	8.8 POWER GRID 230313	8.8	50,000	52,890	78,806	2023/3/13
	8.85 AXIS BANK/ 241205	8.85	50,000	52,656	78,458	2024/12/5
	9.17 NTPC LTD 240922	9.17	50,000	54,047	80,530	2024/9/22
	9.25 ICICI BANK 240904	9.25	50,000	53,836	80,215	2024/9/4
	9.35 RURAL ELEC 220615	9.35	200,000	212,338	316,384	2022/6/15
小計					34,259,415	
合計					48,327,090	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

スワップ及び先渡取引残高

種類	取引契約残高	
	当期末想定元本額	
直物為替先渡取引	百万円 13,389	

○投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 48,327,090	% 95.8
コール・ローン等、その他	2,104,599	4.2
投資信託財産総額	50,431,689	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (49,587,384千円) の投資信託財産総額 (50,431,689千円) に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.43円	1 インドルピー=1.49円		
------------------	----------------	--	--

○特定資産の価格等の調査

(2019年2月13日～2019年8月13日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	35

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	50,431,689,252
コール・ローン等	710,049,316
公社債(評価額)	48,327,090,770
未収利息	925,162,800
前払費用	19,386,366
差入委託証拠金	450,000,000
(B) 負債	412,554,025
未払金	354,768,619
未払解約金	57,785,336
未払利息	70
(C) 純資産総額(A-B)	50,019,135,227
元本	28,962,734,803
次期繰越損益金	21,056,400,424
(D) 受益権総口数	28,962,734,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,270円

<注記事項>

- ①期首元本額 30,778,701,490円
 期中追加設定元本額 925,433,373円
 期中一部解約元本額 2,741,400,060円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7270円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

インド債券オープン(毎月決算型)	16,517,409,393円
国際インド債券オープン(毎月決算型)	8,764,957,250円
インド債券オープン(年1回決算型)	3,621,629,206円
国際インド債券オープン(年1回決算型)	58,738,954円
合計	28,962,734,803円

○損益の状況 (2019年2月13日～2019年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,546,660,848
受取利息	1,545,166,851
その他収益金	1,581,450
支払利息	△ 87,453
(B) 有価証券売買損益	△ 170,930,034
売買益	2,060,542,945
売買損	△ 2,231,472,979
(C) 先物取引等取引損益	350,622,084
取引益	854,305,729
取引損	△ 503,683,645
(D) 保管費用等	△ 18,776,510
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,707,576,388
(F) 前期繰越損益金	20,732,459,714
(G) 追加信託差損益金	697,255,462
(H) 解約差損益金	△ 2,080,891,140
(I) 計(E+F+G+H)	21,056,400,424
次期繰越損益金(I)	21,056,400,424

- (注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含まず。
 (注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。